

# 手話を知ろう 体験しよう

手話のことをもっと知って、耳の聞こえない人とのコミュニケーションの輪を広げていきましょう。



ばらのまち福山  
イメージキャラクター  
「ローラ」

## 1 手話って何かな？

### (1) 手話は「目で見ることば」

手話は、耳の聞こえない人にとって手や指、体の動き、表情を使って、見てわかるように表現する言語として、大切に受け継がれてきました。コミュニケーションの手段として生まれ、育まれ、発展してきた手話は「目で見ることば」です。

### (2) 「福山市ころをつなぐ手話言語条例」

福山市では、2017年(平成29年)12月20日、手話のことをもっと知り、互いに支え合って、誰もが安心してくらすことができるまちづくりをめざして、「福山市ころをつなぐ手話言語条例」が制定されました。

この条例には、手話を言語として認め、大切にしていくこと、手話の理解を広げていくこと、手話を使って安心して生活できる環境づくりを進めることなどが示されています。手話を日常的に使用できる環境を整えることにより、耳の聞こえない人も聞こえる人も互いに心と心が触れ合い、通じ合うまちづくりをめざしています。

ローズマインド(思いやり・やさしさ・助け合いの心)を大切にしているんだね。

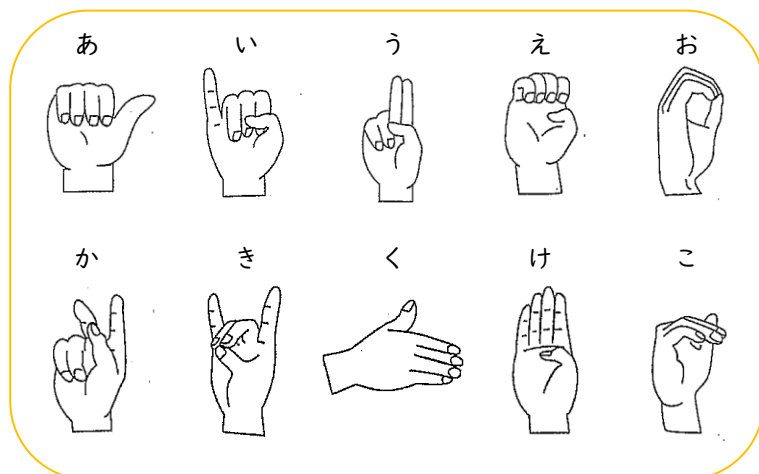


### (3) 指文字も手話の仲間

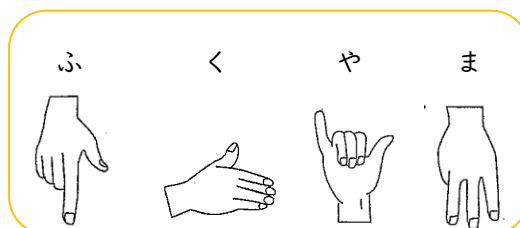
指文字は、手話の一つで、日本語の五十音を表す方法です。手話の表現にないことばや人名・地名など、固有のことばや新しいことばなどは、指文字を使って一字ずつ表します。

いろいろな指の動きが一つの音を表しているよ。ほかの指文字は、どうかな。

#### 五十音



#### (例) 地名



## 2 手話を使ってみよう

まずは日常のあいさつから



おはよう (朝)



こんにちは (昼)



こんばんは (夜)



お疲れ様



ありがとう



すみません



よろしくお願いします



うれしい(楽しい)

「聞こえない人とのコミュニケーション【改訂版】」(一般社団法人広島県ろうあ連盟)から

気持ちが届くよう、表情も大切にね。



## 3 みんなが安心して過ごせるように

手話マークなどの<sup>けいじ</sup>掲示

学校や市役所などの公共施設<sup>しせつ</sup>で、耳の聞こえない人が安心して過ごせるように「手話マーク」や「筆談<sup>ひつだん</sup>マーク」を掲示しています。

(手話マーク)



(筆談マーク)



福山市ホームページでは、「福山市 手話をやってみよう (動画)」を配信しています。

<http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/soshiki/shogaifukushi/109889.html>